

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	ささえあいコミュニティ 生活協同組合新潟	代表者	高見 優	法人・ 事業所 の特徴	2019年3月に地域の方々のご理解、ご協力のもと開設した小規模多機能型居宅介護事業所である。事業所では利用者さまが生き甲斐をもって生活できるように取り組みます。地域の方とも多くの時間を共有し豊富な経験や知識を教えただきながら、利用者様と共に、よき隣人としてお付き合いをできるような関係を目指します。
事業所名	ささえ愛まえかわ	管理者	伊藤 健一		

構成員	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	2人	1人	1人	1人	0人	2人	0人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 共有はできているが更に細かく共有するツールを考えて職員全員で実践していきます。 コロナ禍でも進められる行事や研修を計画し実行いたします。 	<ul style="list-style-type: none"> 従来の仕組みを活用、修正して業務が円滑にこなせるよう日々、職員全員で取り組んだ。特に新規利用者様の情報ノートを作成し全員で情報共有した。 コロナ禍の行事は進まなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で物事がすすまない、できない、わからないという意見が多いが、他事業所の取り組みを参考にして工夫をしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 各項目の質問事項を全体会議のテーマに組み込み、職員のスキル向上に努めます。 職員を増員して、さまざまな研修、地域活動に参加しやすい環境をつくる。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 面会依頼はありましたので窓越し面会やLINEによるビデオ面会をおこないます。 夜間の防犯体制を再度職員全員で共有いたします。 	<ul style="list-style-type: none"> ラインでのビデオ面会をご家族に説明したが、依頼はなかった。 また一時期、コロナ感染が治まり、面会を再開した時期もあった。 防犯体制の情報を全員共有した。 	<ul style="list-style-type: none"> zoomで運営推進会議をしている施設、事業所は「ささえあい」だけで評価はできるが、参加できない方の地域の意見も取り入れながら進めてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な広報誌を発行して事業所の様子を地域の方々に伝えていく。 アンケートの実施
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 新たな形の研修、行事を検討します。(zoomや動画等による研修参加) 	<ul style="list-style-type: none"> ZOOMによる会議を実施した。 新たな形の行事できなかった。コロナの影響で職員の欠勤が多く発生した為。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の方が直接来れないので他の事業所も工夫をしてかかわっている。(取り組みや様子を写真で、アンケート) 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な広報誌を発行して事業所の様子を地域の方々に伝えていく。 アンケートの実施
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> zoom会議ができる様に計画します。 近隣で心配な方がいらっしゃったらご自宅に訪問に伺います。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な会議をzoomで実施できた。 運営推進、セミナー、研修など 近隣で心配な方の情報はなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者以外の方の様子を見ていただく事は可能ですか？ 	<ul style="list-style-type: none"> 自治体、地域包括支援センターと連携をとり、利用者でない方でも伺えるようにする。
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> みなさまの意見を取り入れて運営していきます。現状できることを計画、実行していきたいと思えます。 	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな意見を頂き実施に努めました。コロナ禍が続く中で事業所の運営や地域とのかかわりは難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 参加できない方の地域の意見も取り入れながら進めてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 参加できない委員の意見も反映できる仕組みづくり。
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> 地域、自治体の計画を把握して積極的に参加していきたいと思えます。 様々な災害を想定して計画、設備、備蓄等を進めていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域、自治体の計画に積極参加(申し込み)したが、コロナ禍で中止になった。 災害への避難計画、設備、備蓄を進めてきた。(発電機、食料、水等) 	<ul style="list-style-type: none"> 特に意見、質問はなし。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画、設備、備蓄の情報共有を定期的に職員会議で共有する。 地域、自治体の計画、研修、セミナーに積極的に参加する。